

経営比較分析表（令和5年度決算）

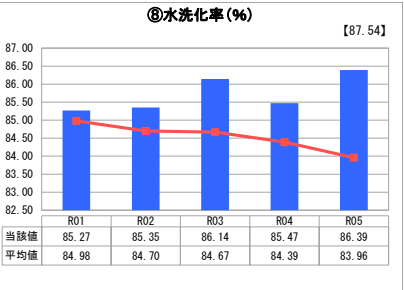
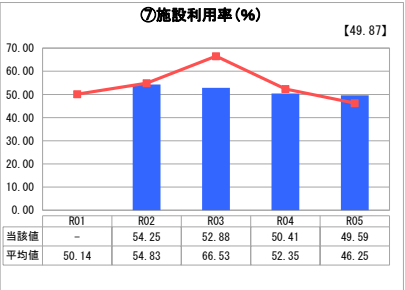
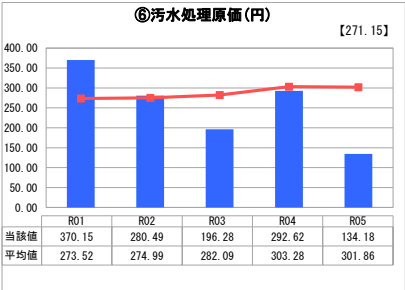
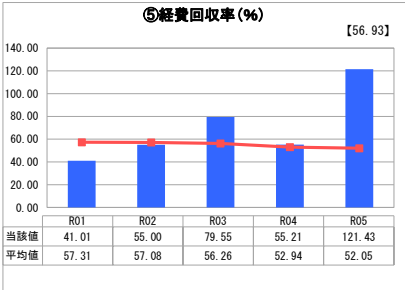
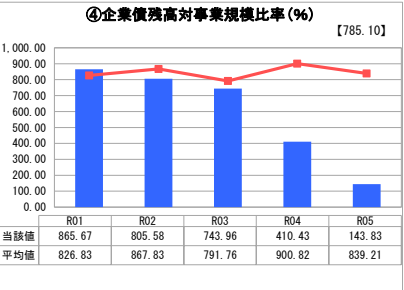
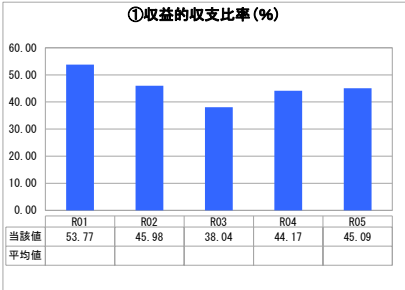
千葉県 長柄町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	11.80	100.00	3,850

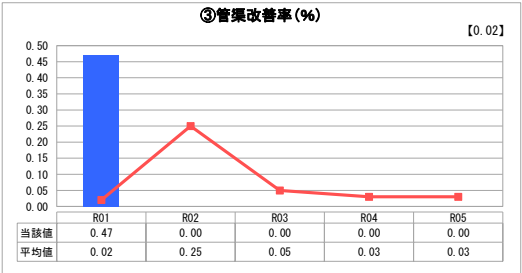
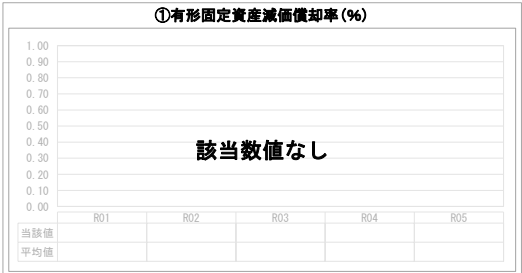
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,316	27.50	229.67
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
742	0.52	1,426.92

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について、数値が100%未満であり、一般会計繰入金で補填している状況である。今後も経費削減や使用料金の適正な水準への引き上げの検討など、経営改善を図っていく必要がある。
⑤経費回収率について、令和5年度の数値が100%越えており、今後も維持していく必要がある。
⑥汚水処理原価について、年ごとに増減があり、類似団体の平均値以下の数値で推移している。明確な数値基準値はないと考えられるが、置かれている状況を把握し、経営改善を図っていく必要がある。
⑦施設利用率について、年ごとに若干の推移はみられ、類似団体平均値前後の数値となっている。
⑧水洗化率について、増加傾向にあり、類似団体平均値以上の推移を維持している。

2. 老朽化の状況について

令和2年度に機能診断を実施し、また最適整備構想を策定した。平成9年に施設の供用を開始し、26年余りを経過している。診断結果をもとに必要な更新を進めていく。

全体総括

人口減少による使用料収入の減少が見込まれるため、収益的収支比率の悪化の防止、維持管理費の削減や使用料の改定等を検討し、経営の改善を図っていく必要がある。
また、更なる接続促進を行い有収水量の増加を図るとともに、使用料収入の減少を最小限に抑える。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。